

## 「本物に触れられる夏休みに」

副校長 矢部 明美

### ICT時代に生きる

コンピュータで調べたり、ゲームソフトで遊んだり、子供たちの周りには、「疑似体験」できるツールでいっぱいです。ICT時代に生きる子供たちは、それを何事もないように使いこなしています。見たこともない世界に画面が広がり、行ったこともないところに行ったような気分にもなれるのです。自分で体験していなくても体験したことがあるかのような、ある種の「錯覚」をしていることにもなります。

### 同じ風景を見た

10年ほど前の夏、京都方面へ出かけた時のことです。ちょうど修学旅行中だったのか、数名の中学生がいました。保津川下りで船に乗ることになりました。船頭さんが巧みに竿を操って船は川を下っていきます。途中、少し川幅が広がったあたりで、セミの鳴き声、ギラギラした太陽を感じながら船に乗っていたある男子生徒が、こんなことを言いました。「ここ、『ぼくのなつやすみ』と同じじゃん。」すると、その生徒の友達も、「おお、マジでそっくり。」と、二人は船の上で大はしゃぎです。

### 「ぼくのなつやすみ」

「ぼくのなつやすみ」とは、ゲームソフトの名前です。田舎の親戚の家に預けられた9歳の男の子が、夏休みの一か月間、森や山に囲まれた自然の中で昆虫採集や虫相撲、魚釣りなど、昔の子供たちがしたであろう遊びを一つずつクリアしていくゲームです。川下りの船に乗っていた二人の中学生は、自分がゲームの中でしか経験していなかった「なつやすみの風景」が、今、目の前に広がっている現実には驚き、感動さえしているのです。

### 楽しい夏休みに

夏休みは、大好きな家族と過ごす時間が多くなる、学校に行かないので自分の考えで行動できる、学校の勉強から開放される、自分の好きな学習や活動ができる、ふだんできない活動が体験できるなどのことがあるので、子供たちはとても楽しみにしています。各ご家庭の考えで、自然と触れ合い、地域社会へ参加するなど、様々な体験は子供を大きく成長させます。本物に触れるよい機会にもなります。

### 千駄木の自然

#### ムクゲの花（アオイ科）

裏庭の生き物小屋裏で咲く大きなピンクの花です。白花もあり、大韓民国の国花でもあります。南国のハイビスカスや、小校庭のオクラやフヨウの仲間です。ご来校の際は花の形を見比べてください。



### 夏休みの生活指導について

生活指導主任 相蘇 好

夏休みは子供たちにとってたくさんの学びのある時期です。健康で安全、そして有意義に過ごせるように、ご家庭で工夫してみてください。

#### ※生活の時間、自由の範囲を決める

起床、就寝のほか、外で遊ぶ時の行き先や帰宅時刻など、ご家庭の方針、事情に合わせて決めて、しっかり守らせましょう。お金の使い方なども学ぶことのできるよい機会です。「よそはよそ、うちのうち」と理由も含めて家族でしっかり話し合しましょう。

#### ※災害時の対応を学んでおく

旅行先での災害などにも対応できるように、地震や火災以外でも、津波、噴火などについても学んでおくことをおすすめします。

### 防災訓練について

生活指導部 沢田 恭一

千駄木小学校では、様々な場面を想定した避難訓練を月に1回行っています。地震を想定した避難訓練の場合には、緊急地震速報を活用することで実際の災害に近い形で訓練をしています。また、4年生では、防災宿泊体験を通して災害が起きた時の状況を疑似的に体験しました。実際に体験することで災害について深く考えられるように取り組んでいます。

9月には保護者への引き渡し訓練も予定しております。今一度、各ご家庭で避難方法や避難場所の確認をお願いいたします。



# 4年生の窓

## ～防災宿泊体験について～



4年生は、総合的な学習の時間「ぼくのわたしの防災生活」で防災について学習しています。先日は、実際に被災したことを想定して、学校に宿泊し消防署の方からAEDの使い方や心肺蘇生の方法、止血の仕方について学びました。この防災宿泊体験を通して、防災意識が高まり、自分で自分の命を守ること、協力し合い自ら進んで責任ある行動をとることの大切さについて考えることができました。そして、限られた水や食料だけの食事から、被災地の大変さを痛感していました。その後は、新聞にまとめ、全校や地域、家庭に広げ、分かりやすく伝えていきます。

消防署や消防団の方からAEDの使い方などを教えていただきました。心配蘇生の際は、思っているよりも力があることや素早い救命が大切であることを学びました。



1日目の夕食は、アルファ米とビスケットと水でした。アルファ米は、お湯を入れて作る非常食です。実際に災害が起きたときのことを考えながら食べました。美味しく、お腹も満たされました。

防災宿泊体験では、教室で寝泊まりをしました。班の友達と協力しながら、毛布を敷きました。災害の際は、助け合い、協力することが大切であると、改めて考えていました。



# 7月の行事予定

日	曜	諸行事
1	水	たてわり班遊び 委員会活動 邦楽鑑賞教室(3～6年)
2	木	保護者会(低学年) 5年学力調査
3	金	保護者会(高学年)
6	月	水道キャラバン(4年)
7	火	クラブ活動
8	水	B時程 4時間授業
9	木	着衣泳(3～6年) 児童集会
10	金	安全指導日・点検日 着衣泳1・2年
13	月	着衣泳予備日 研究会(5-2) 4時間授業
14	火	着衣泳予備日 代表委員会 リザーブ給食
15	水	避難訓練
16	木	給食終わり 音楽朝会
17	金	終業式 B時程
20	月	海の日
21	火	前期水泳 個人面談始
27	月	前期水泳指導終わり
28	火	サマースクールデー(午前中) 岩井事前検診
29	水	6年岩井臨海学校
30	木	岩井臨海学校
31	金	岩井臨海学校終わり 個人面談 終わり



## 7月の生活目標

### ★整理整とんをしましょう

- ・名札を胸にきちんとつけましょう。
- ・すみずみまできれいに掃除をしましょう。
- ・うがいや手洗いをしっかりやりましょう。



## スクールカウンセラー来校日

岩淵 匡彦さん ★毎週水・金曜日

山本 久子さん ★6(月)・13(月)・27(月)